

無線通信研究委員会

WP 6C 会合

(ジュネーブ、オンライン参加可)

報告書

2026年3月16日～2026年3月20日

目次

1 概要.....	3
2 会議の構成.....	3
2.1 音響 (SWG 6C-1)	3
2.2 映像 (SWG 6C-2)	3
2.3 先進的没入・体感メディア (SWG 6C-3)	3
2.4 アクセス性・持続性 (SWG 6C-4)	4
2.5 プレナリ.....	4
3 審議結果.....	4
3.1 先進的音響システム.....	4
3.2 ラウドネス測定法.....	4
3.3 音声品質評価法.....	5
3.4 先進的没入・体感メディアシステム.....	5
3.5 高ダイナミックレンジテレビ(HDR-TV)	5
3.6 テストパターン	6
3.7 映像品質の客観評価.....	6
3.8 放送におけるエネルギー消費削減.....	7
4 日本寄与文書の審議結果	7
5 出力文書.....	7
5.1 SG6に提出(3件)	7
5.2 継続検討(10件).....	8
5.3 リエゾン文書(2件).....	8
5.4 作業計画(1件).....	8
5.5 ラポータグループ付託事項(3件)	9
6 ラポータグループ.....	9
6.1 ラポータグループ	9
6.2 セクター間ラポータグループ	9
7 次回会合予定	9
表1 日本代表団(14名)	10
表2 入力文書(38件)	11
表3 出力文書(21件)	13

1 概要

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R) 第6研究委員会(SG6:放送業務)の作業部会 WP6C(番組制作及び品質評価)会合が下記のとおり開催された。

開催日	2026年3月16日(月)~3月20日(金)(5日間)
開催地	ITU本部(スイス・ジュネーブ、オンライン参加可)
議長	Andy QUESTED(EBU)
参加者	26か国・地域、13組織から合計115名(事務局を除く) 日本から14名(表1参照)
入力文書	38件(表2参照)(議長レポートAnnexを含む)
出力文書	21件(表3参照)

2 会議の構成

以下の4つのサブワーキンググループ(SWG)を設置した。

SWG	担当分野	議長
6C-1	音響	大出 訓史(日本、NHK)
6C-2	映像	Paul GARDINER(英国)
6C-3	先進的没入・体感メディア	Poppy CRUM(米国)
6C-4	アクセス性・持続性	Galina FEDOROVA(ロシア)

2.1 音響 (SWG 6C-1)

SWG 6C-1では、8件の入力文書を7回のSWG/DG会合で審議し、7件のTEMP文書を作成した。

TEMP 文書	件数
勧告改訂草案	3
勧告改訂草案作業文書	1
リエゾン文書	1
ラポーターグループ ToR	1
作業計画	1

2.2 映像 (SWG 6C-2)

SWG 6C-2では、14件の入力文書を7回のSWG/DG会合で審議し、8件のTEMP文書を作成した(うち1件をSG6に上程)。

TEMP 文書	件数
レポート改訂案 (SG6に上程)	1
新勧告草案	1
勧告改訂草案作業文書	2
新レポート草案	2
新レポート草案作業文書	1
ラポーターグループ ToR	1

2.3 先進的没入・体感メディア (SWG 6C-3)

SWG 6C-3では、4件の入力文書を1回のSWG会合で審議し、3件のTEMP文書を作成した(うち1件をSG6に上程)。

TEMP 文書	件数
レポート改訂案 (SG6 に上程)	1
新勧告草案作業文書	1
リエゾン文書	1

2.4 アクセス性・持続性 (SWG 6C-4)

SWG 6C-4 では、6 件の入力文書を 4 回の SWG/DG 会合で審議し、3 件の TEMP 文書を作成した。

TEMP 文書	件数
研究課題改訂草案	1
リエゾン文書	1
ラポータグループ ToR	1

2.5 プレナリ

プレナリでは、9 件の入力文書と 21 件の TEMP 文書を 3 回の会合で審議した。

3 審議結果

3.1 先進的音響システム

(1) ADM レンダラー

- ・ ADM 関連勧告の改訂結果を ADM レンダラーの仕様に反映する勧告 BS.2127 改訂草案作業文書に対し、動的音声オブジェクトから最短距離のスピーカを常に使用するパンニングアルゴリズムとその Python コードを添付して、改訂草案作業文書を更新した。(RG-Audio 提案)

極座標と直交座標の間の座標変換法を再生するスピーカ配置ごとに最適化するアルゴリズムの Python コードを添付し、直交座標系のチャンネルベース音響用チャンネルマッピングを更新した。異なるスピーカ配置が混在するときの直交座標系の音声オブジェクトの統合アルゴリズムの検討や Python コードの動作確認などが残課題である。

(2) 作業計画

- ・ 今研究会期における先進的音響システム関連の作業計画に今回会合の結果を反映して更新した。
- ・ 更新した作業計画と今回会合の結果や継続検討課題を WP6B へ連絡するリエゾン文書を作成した。

3.2 ラウドネス測定法

- ・ ラウドネス測定法の勧告 BS.1770-5 において、48 kHz を超えるサンプリング周波数の音声信号に対するラウドネス測定アルゴリズムを明確化する改訂草案を作成した。(RG-Audio 提案)

96 kHz のままラウドネスを測定する場合に用いるローパスフィルタや K フィルタの係数を、96 kHz サンプリングの音声信号を 48 kHz にダウンサンプリングしてラウドネスを測定する場合との誤差が小さくなるように規定した。また、誤記修正や参照文書番号の変更など、エディトリアル修正も加えた。

3.3 音声品質評価法

(1) 大きな部屋で行う主観音質評価法

- ・ 劇場環境で提示される LSDI アプリケーションの主観音質評価法の勧告 BS.1679-1 を、大きな部屋で実施する主観音質評価法の勧告とする改訂草案を作成した。(RG-Audio 提案)

音質差が小さい音源に対する主観音質評価法の勧告 BS.1116 で規定される評価室よりも大きい評価室での主観音質評価を対象とすることとし、部屋の大きさによって再生音量を変える必要性などの留意点を追加した。

(2) 主観音質評価法の選定指針

- ・ 主観音質評価法の選定指針の勧告 BS.1283-2 に、大きな部屋で行う主観音質評価法の勧告 BS.1679 を追加する改訂草案を更新した。

勧告 BS.1679 の概要を追記するとともに、主観評価の目的に応じて、実験手順と実験条件のそれぞれの選定指針がわかるように選定手順を示すフローチャートと表を修正し、実験条件によって使用する勧告の組み合わせを示す表を追加した。

3.4 先進的没入・体感メディアシステム

(1) 放送用 6DoF 音響システム

- ・ 放送用 6DoF 音響システムの要求条件を示す新勧告草案 BS.[6DOF-AUDIO]に向けた作業文書に勧告の序文 (scope, key words, considering, recommends) を追加して更新した。(日本提案)

韓国から要求条件の勧告を作成することへの異議があった。

- ・ 上記作業文書について WP6B に意見照会するリエゾン文書を作成した。

(2) 360 度映像技術

- ・ 先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集のレポート BT.2420-8 に、勧告 BT.2123 に規定される 360 度映像フォーマットに準拠した 30K360 度カメラシステムと 15K 半球表示装置、これらを用いたコンテンツ制作事例を追記する改訂案を作成した。(日本提案、SG6 へ上程)

3.5 高ダイナミックレンジテレビ(HDR-TV)

(1) HLG システムガンマ

- ・ HDR-TV の映像パラメータ値を規定する勧告 BT.2100-3 において、HLG システムガンマをディスプレイピーク輝度に応じて調整するための二つの計算式を一つにまとめる改訂草案作業文書を作成した。(BBC 提案)

HLG システムガンマを周辺輝度に応じて調整するための計算式はレポート BT.2390 にのみ記載されていたが、勧告 BT.2100 に記載するにあたっては参考情報の位置づけとした。

(2) HDR-TV 用カラーバー

- ・ HDR-TV 用カラーバーの仕様を規定する勧告 BT.2111-3 に、10-bit HLG narrow range の RGB コード値は従来の値を維持しつつ、12-bit や YCBCR のコード値は基

本的に高精度な計算に基づく値に修正・追加し、カラーバーのバージョンを明記する要件を追記した改訂草案作業文書を作成した。(RG-24 提案)

10-bit HLG narrow range の±2% Black の Y コード値については、10-bit RGB から YCBCR に変換した場合と整合する値が記載されたが、例外的な扱いのない、勧告内で統一的な方針に基づく一貫性のある規定を求める意見があった。

(3) 映像レベルメーター

- ・ 映像レベルメーターの要求条件を規定する新勧告草案 BT.[REQ-IL]に向けた作業文書を変更なく新勧告草案とした。(BBC 提案)

今後、BBC 等が実施するユーザートライアルによって要件の妥当性を確認する予定である。

(4) HDR 映像の明るさ変化による不快感の測定

- ・ HDR 映像の明るさ変化によって生じる不快感(observer annoyance)を測定するためのアルゴリズムやメータの開発に向けた知見を示す新レポート草案 BT.[BRI]に向けた作業文書を作成した。(BBC 提案)

本文書では、discomfort は身体的感覚、annoyance は情緒的反応として区別されている。

(5) HDR-TV 制作の運用指針

- ・ HDR-TV 制作の推奨運用指針を示すレポート BT.2408 に、HDR ダウンマッピングの方法の組み合わせによるディスプレイ輝度への影響や推奨・非推奨の組み合わせを示す Annex の更新、UHDTV から飛越走査の HDTV への変換時の注意喚起の追記などを行ったレポート改訂案を作成した。(RG-24、BBC 提案。SG6 へ上程)

UHD 順次走査から HD 順次走査への変換と、HD 順次走査から HD 飛越走査への変換が別々に行われる場合に、HD 順次走査映像に高域成分が多く含まれていると深刻なエイリアシングが発生することがあるため、適切なフィルタリングの必要性が注意喚起されている。

(6) HDR Vivid

- ・ ダイナミックメタデータを活用してトーンマッピングや彩度調整を行うことを特徴とする HDR Vivid フォーマットに関する新レポート草案 BT.[HDR-VIVID]を作成した。(中国提案)

3.6 テストパターン

- ・ 特定目的のために使用される各種のテストパターンと多目的な複合型テストパターンをまとめた新レポート草案 BT.[TEST PATTERNS]を作成した。(日本、中国提案)

日本から様々なテストパターンのサムネイルや解説の追加を提案し、中国から中央部に自然画像を配置した複合型テストパターンが提案された。レポートの構成が議論となり、特定目的で使用されるテストパターンと多目的な複合型テストパターンに分けるよう再構成した。

3.7 映像品質の客観評価

- ・ フルリファレンス(FR)型の知覚映像品質の客観評価法である VMAF とノンリファレン

ス(NR)型の客観評価法を UHD 信号に適用した性能比較結果を示し、FR 型客観評価法の詳細な性能分析・比較結果のレポート作成が提案された。(韓国提案)

VMAF が輝度のみの評価であることや学習データに含まれていないジャンルのコンテンツやフレームレートの映像に対する評価結果にばらつきがみられるなどの技術的懸念や、判断するための情報の不足が指摘された。

3.8 放送におけるエネルギー消費削減

- ・ 放送によるエネルギー消費に焦点を当てた研究課題 147/6 を、放送システムにおけるエネルギー利用の最適化を目指すものとする改訂草案を作成した。(米国提案)

本研究課題は SG6 の全ての WP に関係するため、WP6A と WP6B に本改訂草案を送付し、合意できれば改訂案として SG6 に上程することを依頼した。

- ・ カーボンオフセット政策を取り入れた持続可能性戦略への助言を示すオピニオン 104 に、放送事業者等が気候変動への影響低減に取り組むべきこと、機器メーカーを含む放送業界がエネルギー消費及び二酸化炭素排出量を測定・報告することの奨励を追記する改訂草案は、反対意見により作業を中断した。

4 日本寄与文書の審議結果

日本寄与文書		今回の結果	
		出力文書	説明
2025 年 9 月	新勧告 ITU-R BT.[UHD-HDR-PAT]改訂草案に向けた作業文書へのコメント「HDR、UHDTV 参照テストパターン」	6C/TEMP/118 (6C/158 An.2.5)	新レポート草案 (継続)
2026 年 3 月	新レポート草案に向けた作業文書 ITU-R BT.[TEST PATTERNS]改訂案「テレビジョン基準テストパターン」	6C/TEMP/118 (6C/158 An.2.5)	新レポート草案 (継続)
	レポート ITU-R BT.2420-8 改訂案「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」	6C/TEMP/105 R1 (6/150)	レポート改訂案 (完了)
	新勧告草案 ITU-R BS.[6DoF-Audio]の提案「放送用 6DoF 音響システムの要求条件」	6C/TEMP/104 (6C/158 An.3.1)	新勧告草案 作業文書(継続)

5 出力文書

5.1 SG6 に提出(3 件)

(1) レポート改訂案(2 件)

- ・ レポート BT.2408-8「高ダイナミックレンジテレビジョン制作の推奨運用指針」(6/151)
SG6 でタイトルを「高ダイナミックレンジテレビジョン制作の運用指針」に変更。
- ・ レポート BT.2420-8「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」(6/150)

(2) 研究課題改訂草案(1 件)

- ・ 研究課題 147/6「エネルギー効率の高い放送システム」(6A/233, 6B/170)
タイトルを「放送システムのエネルギー利用の最適化」に変更。
WP6B から改訂案を SG6 へ上程 (6/162)。

5.2 継続検討(10件)

(1) 新勧告草案(1件)

- ・ 勧告 BT.[REQ-IL]「映像レベルメーターの要件条件とアプリケーション」(6C/158 An.2.1)

(2) 勧告改訂草案(3件)

- ・ 勧告 BS.1283-2「音響品質の主観評価のための最適な ITU-R 勧告の選定指針」(6C/158 An.1.3)
- ・ 勧告 BS.1679-1「劇場環境での提示を意図した大画面デジタル映像アプリケーションにおける音声品質の主観評価法」(6C/158 An.1.2)
タイトルを「広い部屋における音声品質の主観評価法」に変更。
- ・ 勧告 BS.1770-5「音声番組ラウドネスと真ピーク音声レベルの測定アルゴリズム」(6C/158 An.1.1)

(3) 新勧告草案作業文書(1件)

- ・ 勧告 BS.[6DoF-Audio]「放送用 6DoF 音響システムの要求条件」(6C/158 An.3.1)

(4) 勧告改訂草案作業文書(3件)

- ・ 勧告 BT.2100-3「制作及び国際番組交換で使用する高ダイナミックレンジテレビジョンの映像パラメータ値」(6C/158 An.2.3)
- ・ 勧告 BT.2111-3「高ダイナミックレンジテレビジョンシステム用カラーバーテストパターンの仕様」(6C/158 An.2.4)
- ・ 勧告 BS.2127-1「先進的音響システムの音響定義モデルレンダー」(6C/158 An.1.4)

(5) 新レポート草案(2件)

- ・ レポート BT.[HDR-VIVID]「HDR Vivid フォーマットに適用される、メタデータを用いた HDR システムの適用事例」(6C/158 An.2.2)
- ・ レポート BT.[TEST PATTERNS]「テレビジョン基準テストパターン」(6C/158 An.2.5)

(6) 新レポート草案作業文書(1件)

- ・ レポート BT.[BRI]「高ダイナミックレンジ映像の輝度変化によって生じる観察者の不快感の測定」(6C/158 An.2.6)

5.3 リエゾン文書(2件)

- ・ WP6B へのリエゾン文書「先進的音響システムの作業計画更新版」(6B/171)
- ・ WP6B へのリエゾン文書「新勧告草案[作業文書]BS.[6DoF-Audio]「放送用 6DoF 音響システムの要求条件」」(6B/169)

5.4 作業計画(1件)

- ・ 先進的音響システムの作業計画 2024-2027 更新版 (6C/158 An.1.5)

5.5 ラポーターグループ付託事項(3件)

- ・ 付託事項を変更した音響に関するラポーターグループ(RG-Audio)の継続 (6C/158 An.1.6)
- ・ HDR-TV を含む映像に関するラポーターグループ(RG-24)の継続 (6C/158 An.2.7)
- ・ 名称と付託事項を変更したラポーターグループの継続「放送におけるエネルギー利用の最適化 (RG-Energy)」 (6C/158 An.4.1)

6 ラポーターグループ

6.1 ラポーターグループ

内容	議長	結果	ToR
音響(RG-Audio)	Scott NORCROSS(米国) 大出 訓史(日本、NHK)	継続 (付託事項変更)	6C/158 An.1.6
HDR-TV を含む映像(RG-24)	Scott MILLER(米国) (Paul GARDINER(英国)から交代)	継続 (付託事項変更)	6C/158 An.2.7
放送におけるエネルギー利用の最適化(RG-Energy)	Hemini MEHTA(EBU) Erik REINHARD(フランス)	継続 (名称と付託事項変更)	6C/158 An.4.1
放送における先進的メディアシステム(RG-AMS)	Poppy CRUM(米国)	廃止	—

6.2 セクター間ラポーターグループ

内容	議長	結果
映像音声の品質評価(IRG-AVQA)	Chulhee LEE(韓国)	継続
映像音声のメディアアクセシビリティ(IRG-AVA)	Andy QUESTED(EBU)	継続

7 次回会合予定

次回会合は2026年9月28日～10月1日にジュネーブで開催される予定である。

表 1 日本代表団(14名)

氏名	所属
佐伯 吉章	総務省 情報流通行政局 放送技術課
大出 訓史	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部
薄井 武順	日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部
近藤 佑輔	(一社) 日本民間放送連盟 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター
松田 祐児	(一社) 日本民間放送連盟 株式会社テレビ朝日 技術局 設備センター
飯田 智之	(一社) 日本民間放送連盟 株式会社フジテレビジョン テックアートデザイン局 テックアート戦略部
西田 幸博	株式会社オーエムシー
松嶋 宣広	株式会社オーエムシー
瀧田 遥奈	株式会社オーエムシー
俵 李伽	株式会社オーエムシー
鈴木 沙和	株式会社オーエムシー
佐伯 祥子	株式会社オーエムシー
Joel Challender	株式会社オーエムシー
末岡 洋子	株式会社オーエムシー

表 2 入力文書(38 件)

入力文書 (6C/)	提出元	題名	割当	出力文書 (6C/TEMP/)
136	Chair, WP 6C	Report of the meeting of Working Party 6C (Geneva, 1-5 September 2025)	Plenary	—
An.1.1		Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1770-5 - Algorithms to measure audio programme loudness and true-peak audio level	SWG1	110
An.1.2		Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2127-1 - Audio Definition Model renderer for advanced sound systems	SWG1	111
An.1.3		Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1283-2 - Guidance for the selection of the most appropriate ITU-R Recommendation(s) for subjective assessment of sound quality	SWG1	113
An.1.4		Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1679-1 - Subjective assessment of the quality of audio in large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment	SWG1	112
An.1.5		Updated work plan for advanced sound system 2024-2027	SWG1	114
An.1.6		Continuation of a Rapporteur Group on Audio (RG-Audio) with modified Terms of Reference	SWG1	116
An.2.1		Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[REQ-IL] - Requirements and applications for Image Level meters	SWG2	107
An.2.2		Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[TEST PATTERNS] - Television reference test patterns	SWG2	118
An.2.3		Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2408 - Application of HDR Vivid Format	SWG2	120
An.2.4		Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2408-8 - Suggested guidance for operational practices in high dynamic range television production	SWG2	117
An.2.5		Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[BRI] - Measuring and Monitoring of High Dynamic Range Image Brightness for International Production and Programme Exchange	SWG2	119
An.2.6		Continuation of Rapporteur Group (RG-24) on HDR-TV	SWG2	121
An.3.1		Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BS.[6DOF-AUDIO] - Requirements for 6DoF audio services	SWG3	104 106
An.3.2		Continuation of Rapporteur Group - Continuation of Rapporteur Group on Advanced Media Systems in broadcasting (RG-AMS) with revised Terms of Reference	SWG3	—
An.4.1		Preliminary draft revision of Opinion ITU-R 104 - Advice for sustainability strategies incorporating carbon offsetting policies	SWG4	—
An.4.2		Preliminary draft revision of Question ITU-R 147/6 - Energy Efficient Broadcasting Systems	SWG4	122
An.4.3		Continuation of the Rapporteur Group - Energy Efficient Broadcasting (RG-EEB)	SWG4	123
137	WP 6B	Liaison statement to Working Party 6C - Updated work plan for advanced sound systems	SWG1	114 115
138	Society of Motion Picture and Television Engineers	Survey on content provenance and authenticity in media	Plenary	—
139	ITU-T SG5	Liaison statement on proposed draft new ITU-T Recommendation on guidance for assessing the environmental impact of radio spectrum utilization	Plenary	—
140	CCT	Liaison statement on comments on the term "OTT bypass" and its definition developed by ITU-T Study Group 2	Plenary	—
141	Brazil	Brazilian next-generation Digital Terrestrial Television (Information document)	Plenary	—
142	Japan	Proposed modifications to the working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[TEST PATTERNS] - Television reference test patterns	SWG2	118
143	Japan	Proposed revision of Report ITU-R BT.2420-8 - Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems	SWG3	105 Rev.1

入力文書 (6C/)	提出元	題名	割当	出力文書 (6C/TEMP/)
144	Japan	Proposal for a preliminary draft new Recommendation ITU-R BS.6DOF-AUDIO] - Requirements for six-degrees of freedom audio systems for broadcasting	SWG3	104 106
145	United States	Views on the preliminary draft revision of Opinion ITU-R 104 - Advice for sustainability strategies incorporating carbon offsetting policies	Plenary SWG4	—
146	United States	[Preliminary] draft revision of Question ITU-R 147/6 - Energy Optimization for Broadcasting Systems	SWG4	122
147	British Broadcasting Corporation (BBC)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[BRI] - Measuring and monitoring of high dynamic range image brightness for international production and programme exchange	SWG2	119
148	British Broadcasting Corporation (BBC)	HLG system gamma formulae in Recommendation ITU-R BT.2100 and Report ITU-R BT.2390	SWG2	108
149	China	[WORKING DOCUMENT TOWARDS A] Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2408 or [WORKING DOCUMENT TOWARDS A] Preliminary draft new Report ITU-R BT.[HDR-VIVID] - Application of the HDR vivid format	SWG2	120
150	China	[WORKING DOCUMENT TOWARDS A] Preliminary draft new Report ITU-R BT.[TEST PATTERNS] - Television reference test patterns	SWG2	118
151	Korea (Rep. of)	Full-reference video quality measurement models for UHD signals	SWG2	—
152	RG on HDR-TV (RG-24)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2111-3 -Specification of colour bar test pattern for high dynamic range television systems	SWG2	109
153	RG on HDR-TV (RG-24)	Progress report on high dynamic range television	Plenary SWG2	117
154	RG-EEB	RG-EEB progress report - September 2025 to March 2026	Plenary SWG4	—
155	RG-Audio	Progress report of Rapporteur Group on the Audio	Plenary SWG1	110, 111, 112
156	BR, Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6C/136 - 6C/156)	Plenary	—

表 3 出力文書(21 件)

出力文書		題名	担当	入力文書 (6C/)	文書種別 (凡例参照)
6C/TEMP/	Doc.				
104	6C/158 An.3.1	[Working document towards a] Preliminary draft new recommendation ITU-R BS.[6DOF-AUDIO] - Requirements for six-degrees of freedom audio systems for broadcasting	SWG3	136 An. 3.1 144	WD-PDNR
105 Rev.1	6/150	Draft revision of report ITU-R BT.2420-8 - Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media system	SWG3	143	DRRep
106	6B/169	Liaison statement to working party 6B - [Working document towards a] Preliminary draft new Recommendation ITU-R BS.[6DOF-AUDIO] - Requirements for six-degrees of freedom audio systems for broadcasting	SWG3	136 An. 3.1 144	LS
107	6C/158 An.2.1	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[REQ-IL] - Requirements and applications for Image Level meters	SWG2	136 An.2.1	PDNR
108	6C/158 An.2.3	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-3 - Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange	SWG2	148	WD-PDRR
109	6C/158 An.2.4	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2111-3 - Specification of colour bar test pattern for high dynamic range television systems	SWG2	152	WD-PDRR
110	6C/158 An.1.1	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1770-5 - Algorithms to measure audio programme loudness and true-peak audio level	SWG1	136 An.1.1 155	PDRR
111	6C/158 An.1.4	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.2127-1 - Audio Definition Model renderer for advanced sound systems	SWG1	136 An.1.2 155	WD-PDRR
112	6C/158 An.1.2	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1679-1 - Subjective assessment of the quality of audio in large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment	SWG1	136 An.1.4 155	PDRR
113	6C/158 An.1.3	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BS.1283-2 - Guidance for the selection of the most appropriate ITU-R Recommendation(s) for subjective assessment of sound quality	SWG1	136 An.1.3	PDRR
114	6C/158 An.1.5	Updated work plans for advanced sound system 2024-2027	SWG1	136 An.1.5 137	CR
115	6B/171	Liaison statement to Working Party 6B - Updated work plan for advanced sound systems	SWG1	137	LS
116	6C/158 An.1.6	Continuation of a Rapporteur Group on Audio (RG-AUDIO) with modified Terms of Reference	SWG1	136 An.1.6	TOR
117	6/151	Draft revision of Report ITU-R BT.2408-8 - Suggested guidance for operational practices in high dynamic range television production	SWG2	136 An.2.4 153	DRRep
118	6C/158 An.2.5	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[TEST PATTERNS] - Television reference test patterns	SWG2	136 An.2.2 142 150	PDNRRep
119	6C/158 An.2.6	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[BRI] - Measuring Observer Annoyance due to Transitions in High Dynamic Range Image Brightness	SWG2	136 An.2.5 147	WD-PDNRRep
120	6C/158 An.2.2	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[HDR-VIVID] - Application of HDR systems using metadata as applied to the HDR Vivid Format	SWG2	136 An.2.3 149	PDNRRep
121	6C/158 An.2.7	Continuation of Rapporteur Group (RG-24) on video including HDR-TV with updated terms of reference	SWG2	136 An.2.6	TOR
122	6A/233, 6B/170	[Preliminary] draft revision of Question ITU-R 147/6 - Energy Aware Broadcasting Systems	SWG4	136 An.4.2 146	PDRQ
123	6C/158 An.4.1	Continuation of the Rapporteur Group with modified name and Terms of Reference	SWG4	136 An.4.3	TOR
124	6A/233, 6B/170	Liaison statement to ITU-R Working Parties 6A and 6B - Revision to Question ITU-R 147/6 - Energy Aware Broadcasting Systems	SWG4	136 An.4.2 146	LS

(凡例)				
	新案(DN*)	改訂案(DR*)	エディトリアル修正案(DEA*)	廃止案(DS*)
研究課題(*Q)	DNQ	DRQ	DEAQ、	DSQ
勧告(*R)	DNR	DRR	DEAR	DSR
レポート(*Rep)	DNRep	DRRep	DEARep	DSRep
ハンドブック(*H)	DNH	DRH	DEAH	DSH
オピニオン(*O)	DNO	DRO	DEAO	DSO
P*: (研究課題・勧告・レポート案等の)草案 WD-*: (研究課題・勧告・レポート等に向けた)作業文書 TOR: (ラポーター・ラポーターグループ・コレスポネンスグループの)付託事項 LS: リエゾン文書 CR: 他の議長報告添付文書 NA: 不同意 Withdrawn: 取り下げ				